

2012年度森林再生支援センターシンポジウム ナラ枯れが大変だ！ ナラ枯れ後も大変だ！

京都の山々でカシノナガキクイムシによるナラ類の枯死が目立つようになって数年が経過しました。今年も多くのコナラやアベマキなどブナ科の樹木にこの虫の大量発生が観察されています。

本シンポジウムでは、京都の森をつくる骨格となっているブナ科樹木が大量に枯死していく状況を長年、観察し、その原因を突き止め、被害対策の最前線で現在も大活躍されている第一人者、小林正秀氏を迎え、今後の被害予測を明らかにしていただくとともに、このナラ枯れに対して、われわれはどのように立ち向かえばよいのかを語っていただきます。

一方、ナラ枯れがもたらす影響は単に現在だけの景観劣化という問題だけにとどまりません。被害後の森林を再生させる若い後継樹の多くがシカによって食われるという状態となっており、ナラ枯れ後の山の斜面が裸地のまま残り、山崩れの危険にさらされる可能性も指摘されています。そこで、森林を人の手によって再生することが求められています。どの場所にはどのような樹種を用いて、どのようにして森づくりを行えばよいのかがテーマになります。

二番目の講演として、昨年策定されたわが国で最も進んだ森づくりの指針とされる京都市三山森林景観保全・再生ガイドラインの考え方に沿って、具体的な森づくり事業に実際取り組んでいる本センター専門委員、高田研一が小林氏の講演を受け、その後の森づくりの多くの課題について語ります。

講演後には、参加者全員が加わる形で、ナラ枯れ、シカ食害、人工林放置など森が抱える多くの課題を語り合い、また次の時代の森のあり方について積極的な意見交換を進めたいと予定しております。

是非とも多くの方々のご参加をお待ちしております。お誘い合わせの上、ご来場ください。

と き：2012年8月12日（日） 13時30分～16時30分

（開場 13時15分）

ばしょ：キャンパスプラザ京都 ホール（2階）

参加費：無料（事前申込み不要。定員90名）

◆プログラム

開会・あいさつ：藤田昇（森林再生支援センター理事長）

講演1：「ナラ枯れが大変だ！」 小林正秀（京都府森林技術センター）
13:35～14:25（50分、簡単な質疑応答含む）

講演2：「ナラ枯れ後も大変だ！」 高田研一（森林再生支援センター）
14:25～15:15（50分、簡単な質疑応答含む）

休憩：15:15～15:30

円卓会議：テーマ；京都の山、森を語り合う
15:30～16:30

問い合わせ先：NPO 法人森林再生支援センター

075-432-0026 / info@crn.net

キャンパスプラザ京都 アクセス

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る

(ビックカメラ前、JR 京都駅ビル駐車場西側)

